

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ
 コード番号 4820 URL <https://emsystems.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國光 宏昌
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営戦略本部長 (氏名) 小林 大悟 TEL 06-6397-1888
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,039	△24.9	216	△85.9	388	△77.2	155	△86.4
2025年12月期第1四半期	6,714	20.5	1,533	112.8	1,701	94.8	1,139	99.3

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 267百万円 (△76.6%) 2025年12月期第1四半期 1,140百万円 (98.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	2.24	2.23
2025年12月期第1四半期	16.48	16.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	26,313	19,178	72.5	275.57
2025年12月期	27,506	20,432	73.9	293.77

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 19,075百万円 2025年12月期 20,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	17.00	—	22.00	39.00
2026年12月期	—				
2026年12月期(予想)		5.00	—	18.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,273	△15.4	447	△78.5	791	△67.0	344	△78.5	4.97
通期	22,762	△3.8	3,316	△9.8	3,939	△8.7	2,193	△10.6	31.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名)株式会社コンダクト、 除外 1社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	70,514,800株	2025年12月期	70,514,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	1,293,795株	2025年12月期	1,293,794株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	69,221,005株	2025年12月期1Q	69,129,906株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの主要取引先である医療業界におきましては、「医療DX令和ビジョン2030」等に基づいた医療DXの社会実装が加速しております。効率化や適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性向上が喫緊の課題となっており、経営基盤の強化を目的としたシステム投資の重要性が一段と高まっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、質の高い医療の実現に向け、医療DXやイノベーション推進等の取り組みを継続してまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、過年度にわたり収益を牽引したオンライン資格確認システムや電子処方箋の導入が一巡しましたが、各種報酬改定の対応や生成AIをはじめとする先端技術を活用した新たな付加価値サービスの開発・提供を推進してまいりました。

また、当社グループの各セグメント事業におきましては、「中期経営計画FY2025～FY2027」の達成に向け、カンパニー制の導入による組織再編を実施し、各セグメントにおける意思決定の迅速化と、顧客ニーズに即応した最適なサービスの提供体制を構築しました。加えて、コールセンターへのAIツール導入や、オンラインを活用した効率的なシステム操作講習の実施、社内業務へのAI活用を推進し、サービス品質の向上と業務効率化による収益構造の強化を図っております。当第1四半期連結累計期間においては、オンライン資格確認システムや電子処方箋の導入等の取り組みが一巡し、反動減が生じたことや、将来の収益基盤拡大に向けた営業戦略の転換等により、売上高及び営業利益は前年同期を下回る結果となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,039百万円（前年同期比24.9%減）、営業利益216百万円（同85.9%減）、経常利益388百万円（同77.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益155百万円（同86.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(調剤システム事業)

調剤システム事業につきましては、オンライン資格確認システム関連オプションソフト及び電子処方箋の導入設置に伴う集中需要が一巡したことに加えて、営業リソースを新規他社獲得及び付加価値商材へ重点配分し、既存顧客のリプレイス促進を抑制したこと等から、売上高及び営業利益は減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の調剤システム事業は、売上高4,074百万円（前年同期比25.8%減）、営業利益374百万円（同74.4%減）となりました。

(医科システム事業)

医科システム事業につきましては、前年度に活発であった電子処方箋の集中需要が一巡したことに加えて、既存顧客のリプレイス促進から新規他社獲得へのシフトを優先したこともあり、売上高は減少するとともに利益面でも損失を計上しました。一方で、組織体制の再構築やデジタルマーケティングを活用した戦略的アプローチの推進により、「MAPs for CLINIC」の導入に伴う課金お客様数は着実に増加しており、課金売上高は順調に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の医科システム事業は、売上高592百万円（前年同期比28.8%減）、営業損失170百万円（前年同期営業利益123百万円）となりました。

(介護/福祉システム事業)

介護/福祉システム事業につきましては、「MAPs for NURSING CARE」へのリプレイスを促進した結果、移行期に伴う保守売上高の減少は見られたものの、収益構造の適正化に伴う価格体系の見直しにより、課金売上高は着実に増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の介護/福祉システム事業は、売上高133百万円（前年同期比4.2%増）、営業損失76百万円（前年同期営業損失97百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業につきましては、株式会社ユニケソフトウェアリサーチにおいて経営資源の最適化に取り組んだことで、売上高は減少したものの収益性は改善しました。加えて、チョキ株式会社の業績が堅調に推移したことにより、セグメントの売上高は微減にとどまり、営業利益は増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高279百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益40百万円（同76.4%増）となりました。

(上記セグメント別の売上高及び営業利益（損失）は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。)

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は11,439百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,508百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が714百万円、その他流動資産が691百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は14,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ316百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が44百万円、無形固定資産が266百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は26,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,192百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円減少いたしました。これは主に、未払金が349百万円減少したものの、賞与引当金が192百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が253百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は7,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は19,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,254百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1,366百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は72.5%(前連結会計年度末は73.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想については、これまでの実績並びに最近の事業環境を踏まえ、第2四半期連結累計期間の予想を変更いたしました。詳細については、本日(2026年5月14日)公表の「2026年12月期 第2四半期(中間期)連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、2026年12月期通期の連結業績予想については、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,847	7,133
受取手形及び売掛金	3,207	3,065
商品及び製品	455	496
その他	1,441	750
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	12,948	11,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	572	627
土地	348	367
リース資産（純額）	2	2
建設仮勘定	9	—
その他（純額）	442	423
有形固定資産合計	1,376	1,420
無形固定資産		
ソフトウェア	749	880
ソフトウェア仮勘定	160	21
のれん	2,063	2,340
その他	1,047	1,045
無形固定資産合計	4,021	4,287
投資その他の資産		
投資有価証券	1,043	1,149
投資不動産（純額）	6,469	6,444
その他	1,660	1,586
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	9,160	9,167
固定資産合計	14,558	14,874
資産合計	27,506	26,313

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,181	1,235
1年内返済予定の長期借入金	577	466
未払金	1,361	1,011
リース債務	0	0
未払法人税等	128	163
賞与引当金	465	657
契約負債	816	799
その他	1,237	1,237
流動負債合計	5,769	5,573
固定負債		
長期借入金	5	258
リース債務	2	2
退職給付に係る負債	132	138
製品保証引当金	0	0
長期預り保証金	814	815
その他	348	346
固定負債合計	1,304	1,562
負債合計	7,074	7,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,785	2,785
資本剰余金	2,502	2,502
利益剰余金	15,290	13,924
自己株式	△711	△711
株主資本合計	19,867	18,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	362
為替換算調整勘定	184	211
その他の包括利益累計額合計	467	574
新株予約権	55	55
非支配株主持分	41	47
純資産合計	20,432	19,178
負債純資産合計	27,506	26,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	6,714	5,039
売上原価	2,952	2,744
売上総利益	3,761	2,294
販売費及び一般管理費	2,228	2,078
営業利益	1,533	216
営業外収益		
受取利息	1	9
不動産賃貸収入	268	276
その他	3	4
営業外収益合計	272	291
営業外費用		
支払利息	2	0
不動産賃貸費用	101	115
その他	0	2
営業外費用合計	104	118
経常利益	1,701	388
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	4
減損損失	44	97
特別損失合計	45	102
税金等調整前四半期純利益	1,656	286
法人税等	512	126
四半期純利益	1,143	160
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,139	155

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,143	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	79
為替換算調整勘定	△44	26
その他の包括利益合計	△3	106
四半期包括利益	1,140	267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,135	261
非支配株主に係る四半期包括利益	4	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	266百万円	205百万円
のれんの償却額	48百万円	65百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年1月1日至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護/福祉 システム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	3,024	576	20	—	3,621	—	3,621
課金売上	1,775	223	55	—	2,054	—	2,054
サブライ売上	526	14	—	—	541	—	541
保守売上	159	17	51	—	229	—	229
その他の事業売上	—	—	—	268	268	—	268
顧客との契約から 生じる収益	5,486	831	127	268	6,714	—	6,714
外部顧客への売上高	5,486	831	127	268	6,714	—	6,714
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	—	—	30	34	△34	—
計	5,490	831	127	298	6,748	△34	6,714
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	1,459	123	△97	22	1,508	24	1,533

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護/福祉 システム事業	その他の事業	合計
減損損失	—	9	35	—	44

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年1月1日至2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護／福祉 システム事業	その他の事業	計		
売上高							
初期売上	1,668	308	15	—	1,992	—	1,992
課金売上	1,801	256	83	—	2,142	—	2,142
サブライ売上	474	12	—	—	486	—	486
保守売上	124	14	34	—	172	—	172
その他の事業売上	—	—	—	244	244	—	244
顧客との契約から 生じる収益	4,068	592	133	244	5,039	—	5,039
外部顧客への売上高	4,068	592	133	244	5,039	—	5,039
セグメント間の内部売 上高又は振替高	5	—	—	35	40	△40	—
計	4,074	592	133	279	5,080	△40	5,039
セグメント利益又は損失 (△) (注) 2	374	△170	△76	40	167	49	216

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	調剤システム 事業	医科システム 事業	介護／福祉 システム事業	その他の事業	合計
減損損失	—	90	6	—	97

(のれんの金額の重要な変動)

「介護／福祉システム事業」セグメントにおいて、株式会社コンダクトの株式を取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第1四半期連結累計期間にのれんが341百万円発生しています。

なお、のれんの金額は当第1四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。